〔Ｄ１１０〕の　り　面　基　本

この調査表は、道路のり面・斜面（切土のり面・盛土のり面・斜面）に関する基本的データを登録するためのものである。なお、ここで取扱うのり面としては以下を対象とする。ただし、管理上必要と判断されるのり面については関連部署と協議の上データ整備の対象とする。

①「（AM）のり面最大直高」が5m以上

１．一般的注意事項

（１）データは次の単位で作成する。

○　出張所毎とする。

○　路線毎とする。

○　上・下線毎とする。

○　該当する切土のり面、盛土のり面および斜面毎とする。

（２）のり面に関する降雨による通行規制区間については「D111 のり面規制区間」にて作成する。……【保留】

（３）のり面に関する切土のり面については「D112 のり面切土関連」にて作成する。……【保留】

（４）のり面に関する盛土のり面については「D113 のり面盛土関連」にて作成する。……【保留】

（５）のり面に関する斜面ならびに切土のり面ののり肩に続く背後斜面、または盛土のり面ののり先に続くのり先斜面については「D114 のり面斜面関連」にて作成する。……【保留】

（６）のり面に関する崩壊・地滑りについては「D115 のり面崩壊地滑箇所」にて作成する。【保留】

（７）のり面に関する施設の小規模な変状については「D116 のり面変状施設」にて作成する。【保留】

（８）のり面に関する補修歴については「D117 のり面補修改築歴」にて作成する。

（９）のり面に関する防災点検調査については「D118 のり面防災点検」にて作成する。……【保留】

(10) のり面に関する写真・図面類については「D119 のり面図面類」にて作成する。

２．記入事項

（１）工事番号

（２）工事区分Ｃ

（３）施設対応番号

（Ｃ）地整Ｃ

（Ｄ）事務所Ｃ

（E）出張所C

（F）路線

（G）現旧区分C

（H）整理番号１

上記（１）、（２）、（３）、（C）、（D）、（E）、（F）、（G）、（H）の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1．共通注意事項」を参照のこと。

（P）名称

該当する区間の道路のり面の名称を１０文字以内の日本語（漢字、ひらがな、カタカナ、及び英数字）で記入する。名称がない場合は、道路のり面箇所の地先名を記入する。

（Q）百米標自（km）

該当する区間の距離標（百米標）を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1．共通注意事項」を参照のこと。

（R）距離自（m）

該当する区間の距離標（百米標）からの距離を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1．共通注意事項」を参照のこと。

（S）百米標至（km）

該当する区間の距離標（百米標）を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1．共通注意事項」を参照のこと。

（T）距離至（m）

該当する区間の距離標（百米標）からの距離を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1．共通注意事項」を参照のこと。

（U）市区町村自C

該当する区間の始点側の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは自治省作成の「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

（記入例）　茨城県鹿島郡旭村の場合　―――＞　コード：０８４０１
（検査数字は含まない）

（X）所在地自

該当する区間の始点側の所在地（字番地まで）について、３０文字以内の日本語で記入する。

（Y）市区町村至C

該当する区間の終点側の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは自治省作成の「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

（記入例）　茨城県鹿島郡大洋村の場合　———>　コード：０８４０３
（検査数字は含まない）

(AB) 所在地至

該当する区間の終点側の所在地（字番地まで）について、３０文字以内の日本語で記入する。

(AE) 施設完成年度

施設が完成した年度を記入する。（年は和暦を記入）

年号コードについては、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1. 共通注意事項」を参照のこと。

（記入例）　昭和６１年　———>　３６１
↑
年号コード（３：昭和）

(AF) 施設改修年度

施設を改修した年度を記入する。（年は和暦を記入）

年号コードについては、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1. 共通注意事項」を参照のこと。施設の改修がなされていない場合は‘＊’を記入する。

（記入例）　平成　５年　———>　４０５
↑
年号コード（４：平成）

(AG) 上り・下り区分C

上り・下り区分について、該当するコードを記入する。

区　　分	コード
上下線共通	0
上　り　線	1
下　り　線	2

(AI) のり面斜面分類C

のり面・斜面の分類について、該当するコードを記入する。

区　　分	コード
切土のり面	1
盛土のり面	2
斜　　面	3

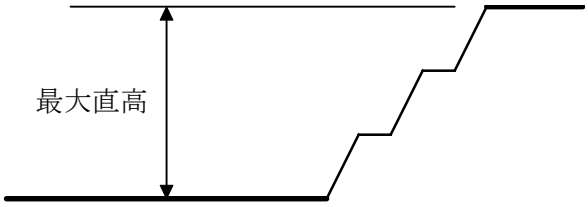
(AK) 規制区間内外別C

降雨に対する通行規制区間の内か外について、該当するコードを記入する。

区　　分	コード
区　間　外	1
区　間　内	2

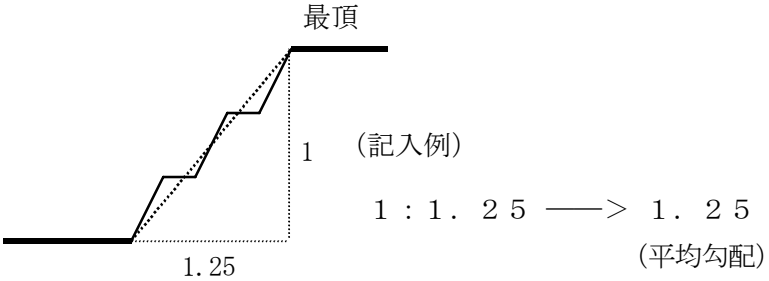
(AM) のり面最大直高（m）

該当するのり面・斜面区間内におけるのり面の最大直高を記入する。なお、のり尻の構造物も含めた直高とする。



(AN) のり面平均勾配

該当するのり面・斜面区間内におけるのり面の平均勾配（最下段～最頂）を小数点以下２位まで記入する。



対象となるのり面・斜面内における既設ののり面保護工（落石対策工等）について、代表的な工種を３工種選定し、それぞれに対して、次の項目を記入する。なお、該当しない項目は、‘＊’を記入する。

(AO) 落石対策工工種区分１Ｃ

対象となるのり面・斜面内における既設ののり面保護工、落石対策工の工種について、表－Ａに示すコードより１種類目の該当するコードを記入する。

(AW) 落石対策工完成年月１

１種類目の既設ののり面保護工、落石対策工の完成年月を記入する。（年は西暦で記入）

（記入例）　平成　９年　３月　――＞　１９９７０３

表－Ａ　のり面保護工・落石対策工等の種別

区　　分	コード	区　　分	コード
モルタル吹付工	０１	ふとんかご工	２０
コンクリート吹付工	０２	杭　　工	２１
石　張　工	０３	補強土工法	２２
ブロック張工	０４	種子散布工	２３
コンクリート張工	０５	客土吹付工	２４
プレキャストのり枠工	０６	植生マット工	２５
現場打コンクリートのり枠工（吹付のり枠工を含む）	０７	張　芝　工	２６
根 固 め 工	０８	植 生 筋 工	２７
アンカー工	０９	筋　芝　工	２８
ロックボルト工	１０	植 生 盤 工	２９
編　柵　工	１１	植 生 袋 工	３０
のり面蛇籠工	１２	植 生 穴 工	３１
落石防止網工	１３	谷 止 め 工	３２
落石防止柵工	１４	え ん 堤 工	３３
落 石 覆 工	１５	床 固 め 工	３４
石積擁壁工	１６	水　制　工	３５
ブロック積擁壁工	１７	護　岸　工	３６
コンクリート擁壁工	１８	水　路　工	３７
井　桁　工	１９	その他の工種	３８

(AX) 落石対策工工種区分２Ｃ

(BF) 落石対策工完成年月２

上記（AX）～（BF）については、既設ののり面保護工、落石対策工の２種類目について記入する。記入方法については、（AO）～（AW）落石対策工１種類目を参照のこと。

(BG) 落石対策工工種区分３Ｃ

(BO) 落石対策工完成年月３

上記（BG）～（BO）については、既設ののり面保護工、落石対策工の３種類目について記入する。記入方法については、（AO）～（AW）落石対策工１種類目を参照のこと。

対象となるのり面・斜面内におけるのり面排水工のうち表面排水工について、代表的な工種を２工種選定し、それぞれに対して、次の項目を記入する。なお、該当しない項目は、‘＊’を記入する。

(BP) 表面排水工工種区分１Ｃ

対象となるのり面・斜面内におけるのり面排水工のうち表面排水工の工種について、次の区分より１種類目の該当するコードを記入する。

区　　分	コード
のり肩排水溝	０１
縦 排 水 溝	０２
小段排水溝	０３
そ　の　他	９９

(BX) 表面排水工完成年月１

１種類目ののり面・斜面内における表面排水工の完成年月を記入する。（年は西暦で記入）

（記入例）　平成　８年　３月　　―――>　　１９９６０３

(BY) 表面排水工工種区分２Ｃ

(CG) 表面排水工完成年月２

上記（BY）～（CG）については、のり面・斜面内の表面排水工の２種類目について記入する。記入方法については、（BP）～（BX）表面排水工１種類目を参照のこと。

対象となるのり面・斜面内におけるのり面排水工のうち地下排水工について、代表的な工種を２工種選定し、それぞれに対して、次の項目を記入する。なお、該当しない項目は、‘＊’を記入する。

(CH) 地下排水工工種区分１Ｃ

対象となるのり面・斜面内におけるのり面排水工のうち地下排水工の工種について、次の区分より１種類目の該当するコードを記入する。

区　　分	コード
地下排水溝	０１
垂直排水孔	０２
水平排水孔	０３
水平排水層	０４
のり面蛇籠	０５
水抜きパイプ	０６
そ　の　他	９９

(CP) 地下排水工完成年月１

１種類目ののり面・斜面内の地下排水工の完成年月を記入する。（年は西暦で記入）

（記入例）　平成　７年　３月　　―――>　　１９９５０３

(CQ) 地下排水工工種区分２Ｃ

(CY) 地下排水工完成年月２

上記（CQ)～（CY）については、のり面・斜面内の地下排水工の２種類目について記入する。記入方法については、（CH）～（CP）１種類目を参照のこと。

対象となるのり面・斜面内における路面排水工について、代表的な工種を２工種選定し、それぞれに対して、次の項目を記入する。なお、該当しない項目は、‘＊’を記入する。

(CZ) 路面排水工工種区分１Ｃ

対象となるのり面・斜面内における路面排水工の工種について、次の区分より１種類目に該当するコードを記入する。

区　　分	コード
コンクリートＬ形側溝	０１
コンクリートＵ形側溝	０２
石　積　側　溝	０３
ブロック積側溝	０４
そ　の　他	９９

(DH) 路面排水工完成年月１

のり面・斜面内の１種類目の路面排水工の完成年月を記入する。（年は西暦で記入）

（記入例）　平成　６年　３月　　―――>　　１９９４０３

(DI) 路面排水工工種区分２Ｃ

(DQ) 路面排水工完成年月２

上記（DI）～（DQ）については、のり面・斜面内の路面排水工の２種類目について記入する。記入方法については、（CZ）～（DH）１種類目を参照のこと。

(DR) 植生状況Ｃ

対象となるのり面・斜面の植生工の完成後の現状について、該当するコードを記入する。植生がない場合は‘＊’記入する。

区　　分	コード
良好な植生ののり面	1
不良な植生ののり面	2
裸　地　の　り　面	3

(DT) 水状況Ｃ

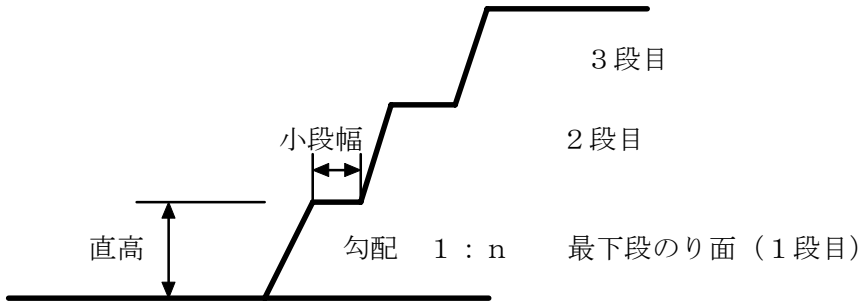
対象となるのり面・斜面の湧水等の状況を総括的に判断して、該当するコードを記入する。なお、水の状況区分が湧水有の場合、調査項目(DV)湧水量について記入する。

区　　分	コード
乾　　燥	1
湿　　潤	2
湧 水 有	3
表流水有	4

(DW) のり段数

対象となるのり面・斜面ののり面を構成しているのり段数について記入する。ただし、単一のり面については、「１」段として記入する。

のり面を構成している各段の形状について、次の項目を記入する。
この場合、最下のり面より順に最大１０段ののり面まで記入する。



また、盛土の天端幅は、最上のり面の次の小段幅の欄に記入する。

(DX) １段目直高（m）

のり面、最下段の直高を記入する。

(EA) ２段目直高（m）

(ED) ３段目直高（m）

(EG) ４段目直高（m）

(EJ) ５段目直高（m）

(EM) ６段目直高（m）

(EP) ７段目直高（m）

(ES) ８段目直高（m）

(EV) ９段目直高（m）

(EY) １０段目直高（m）

上記（EA）～（EY）については、のり形状が複数ある場合にそれぞれ各項目に記入する。記入方法については、（DX）のり形状１種類目を参照のこと。

(FB) 備考

特記事項があれば３０文字以内の日本語で記入する。

〔Ｄ１１７〕の り 面 補 修 改 築 歴

この調査表は、該当するのり面・斜面内における施設（のり面保護工など）の補修歴等に関するデータを登録するためのものである。

１．一般的注意事項

データは次の単位で作成する。

○　「D110 のり面基本」の作成単位毎とする。

○　補修（維持、修繕）または改築が行われた施設毎とする。

２．記入事項

（１）工事番号

（２）工事区分Ｃ

（３）施設対応番号

（Ｃ）地整Ｃ

（Ｄ）事務所Ｃ

（Ｅ）出張所Ｃ

（Ｆ）路線

（Ｇ）現旧区分Ｃ

（Ｇ－１）現旧区分

（Ｈ）整理番号１

（Ｉ）整理番号２

上記（１）、（２）、（３）、（Ｃ）、（Ｄ）、（Ｅ）、（Ｆ）、（Ｇ）、（Ｇ－１）、（Ｈ）、（Ｉ）の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1. 共通注意事項」を参照のこと。

（Ｐ）補修改築別Ｃ

補修・改築の別について、該当するコードを記入する。

区　　分	コード
補修（排土、土砂等の除去を含む）	A
改築（新たな対策の追加を含む）	B

（R）変状施設C

補修・改築を行った変状施設について、表－Aの区分より該当するコードを記入する。

（T）補修年月

補修・改築を行った年月を記入する。

（記入例）　平成　9年　3月　――――>　１９９７０３

区　　分	コード	区　　分	コード
のり面保護工種、落石対策工			
モルタル吹付工	０１	ふとんかご工	２０
コンクリート吹付工	０２	杭　工	２１
石張工	０３	補強土工法	２２
ブロック張工	０４	種子散布工	２３
コンクリート張工	０５	客土吹付工	２４
プレキャストのり枠工	０６	植生マット工	２５
現場打コンクリートのり枠工	０７	張芝工	２６
（吹付のり枠工を含む）		植生筋工	２７
根固め工	０８	筋芝工	２８
アンカー工	０９	植生盤工	２９
ロックボトル工	１０	植生袋工	３０
編柵工	１１	植生穴工	３１
のり面蛇籠工	１２	谷止め工	３２
落石防止網工	１３	えん堤工	３３
落石防止柵工	１４	床固め工	３４
落石覆工	１５	水制工	３５
石積擁壁工	１６	護岸工	３６
ブロック積擁壁工	１７	水路工	３７
コンクリート擁壁工	１８	その他の工種	３８
井桁工	１９		
のり面排水工			
（表面排水工）		（地下排水工）	
のり肩排水溝	３９	地下排水溝	４３
縦排水溝	４０	垂直排水孔	４４
小段排水溝	４１	水平排水孔	４５
その他	４２	水平排水層	４６
		のり面蛇籠	４７
		水抜きパイプ	４８
		その他	４９
カルバート			
ボックス	５０	コルゲートメタル	５３
門　形	５１	その他	５４
パイプ	５２		
路面排水工			
コンクリートＬ形側溝	５５	ブロック積側溝	５８
コンクリートＵ形側溝	５６	その他	５９
石積側溝	５７		
のり面・斜面状態			
（植生状況）		(斜面の区分)	
良好な植生ののり面	６０	斜　面	６５
不良な植生ののり面	６１	(のり面を伴わず)	
裸地のり面	６２	のり肩斜面	６６
（のり面の区分）		(のり肩より斜距離 20m 以内)	
切土のり面	６３	のり先斜面	６７
盛土のり面	６４	(のり先より斜距離 20m 以内)	
		背後斜面	６８
		(のり面より斜距離 20m 以遠)	

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

D110：のり面（基本諸元）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分Ｃ	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整Ｃ	半角2文字			○
事務所Ｃ	半角2文字			○
出張所Ｃ	半角2文字			○
路線	9999			○
現旧区分Ｃ	半角1文字			○
整理番号１	半角8文字			○
名称	全角10文字			○
百米標自	999.9	ｋｍ		○
距離自	9999	m		○
百米標至	999.9	ｋｍ		○
距離至	9999	m		○
市区町村自Ｃ	半角5文字			○
所在地自	全角30文字			○
市区町村至Ｃ	半角5文字			○
所在地至	全角30文字			○
施設完成年度	999	和暦		○
施設改修年度	999	和暦		○
上り下り区分Ｃ	半角1文字			○
のり面斜面分類Ｃ	半角1文字			○
規制区間内外別Ｃ	半角1文字			○
のり面最大直高	999	m		○
のり面平均勾配	9.99			○
落石対策工工種区分１Ｃ	半角2文字			○
落石対策工完成年月１	199901	西暦		○
落石対策工工種区分２Ｃ	半角2文字			○
落石対策工完成年月２	199901	西暦		○
落石対策工工種区分３Ｃ	半角2文字			○
落石対策工完成年月３	199901	西暦		○
表面排水工工種区分１Ｃ	半角2文字			○
表面排水工完成年月１	199901	西暦		○
表面排水工工種区分２Ｃ	半角2文字			○
表面排水工完成年月２	199901	西暦		○
地下排水工工種区分１Ｃ	半角2文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

D110：のり面（基本諸元）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
			全国版	中国版
	データ表現	単位	SYOGEN	SYOGEN_0
地下排水工完成年月１	199901	西暦		○
地下排水工工種区分２Ｃ	半角2文字			○
地下排水工完成年月２	199901	西暦		○
路面排水工工種区分１Ｃ	半角2文字			○
路面排水工完成年月１	199901	西暦		○
路面排水工工種区分２Ｃ	半角2文字			○
路面排水工完成年月２	199901	西暦		○
植生状況Ｃ	半角1文字			○
水状況Ｃ	半角1文字			○
のり段数	99			○
１段目直高	99	m		○
２段目直高	99	m		○
３段目直高	99	m		○
４段目直高	99	m		○
５段目直高	99	m		○
６段目直高	99	m		○
７段目直高	99	m		○
８段目直高	99	m		○
９段目直高	99	m		○
１０段目直高	99	m		○
備考	全角15文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

D117：のり面（補修改築歴）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
			全国版	中国版
	データ表現	単位	SYOGEN	SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分Ｃ	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整Ｃ	半角2文字			○
事務所Ｃ	半角2文字			○
出張所Ｃ	半角2文字			○
路線	9999			○
現旧区分Ｃ	半角1文字			○
現旧区分	全角2文字			○
整理番号１	半角8文字			○
整理番号２	半角4文字			○
補修改築別Ｃ	半角1文字			○
変状施設Ｃ	半角2文字			○
補修年月	199901	西暦		○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照